

第3回陸羽東線の利活用促進に関する地域懇談会

- 1 開催日時 令和5年2月26日（日） 午後2時00分～3時45分
- 2 開催場所 グランド平成 2階 孔雀の間
- 3 出席者

(1) 構成団体

No.	団体名	出欠
1	古川まちづくり協議会	○
2	志田東部地区振興協議会	○
3	志田中部地区振興協議会	○
4	西古川地区振興協議会	○
5	東大崎地区振興協議会	○
6	高倉地区振興協議会	○
7	古川商工会議所	欠
8	おおさき青年会議所	○
9	みやぎ大崎観光公社	○
10	大崎市工業会	欠
11	古川高等学校 PTA	○
12	古川黎明高等学校 PTA	○
13	古川学園高等学校 PTA	○
14	大崎中央高等学校 PTA	○

No.	団体名	出欠
1	岩出山まちづくり協議会	○
2	まやま自治会	○
3	池月地域づくり委員会	○
4	上野目自治協議会	欠
5	西大崎地域自治協議会	○
6	岩出山地域づくり委員会	○
7	玉造商工会	欠
8	岩出山観光協会	○
9	岩出山高等学校 PTA	○
10	岩出山中学校 PTA	○
11	岩出山地域内公共交通運営委員会	○

No.	団体名	出欠
1	鳴子まちづくり協議会	○
2	鬼首地域づくり委員会	○
3	中山地区コミュニティ連絡協議会	欠
4	鳴子地域づくり委員会	○
5	東鳴子地域づくり委員会	欠
6	川渡地域づくり委員会	欠
7	鳴子∞地域づくりネットワーク	欠
8	鳴子温泉郷観光協会	○
9	玉造商工会	○
10	鳴子中学校 PTA	○
11	鳴子小学校 PTA	○
12	鳴子御殿場駅乗車券類発売管理組合	欠

(2) 市側

No	役職	氏名	出欠
1	市長	伊藤 康志	○
2	副市長	吉田 祐幸	○
3	副市長	尾松 智	○
4	市民協働推進部長	伊藤 文子	○
5	総務部長	赤間 幸人	○
6	民生部長	渋谷 勝	○
7	産業経済部長	寺田 洋一	○ (代理)
8	建設部長	茂泉 善明	○
9	教育部長	宮川 亨	○
10	病院経営管理部長	中田 健一	欠
11	岩出山総合支所長	安藤 豊	○
12	鳴子総合支所長	伊藤 正幸	○

- 4 事務局 市民協働推進部まちづくり推進課長 中鉢豊，同課長補佐 三澤香苗，
同主幹兼係長 千田貴憲，同主事 佐々木弥祐

5 会議の概要

(1) 開 会

- ・事務局が会議を進行。

(2) あいさつ

・伊藤市長

第3回陸羽東線の利活用促進に関する地域懇談会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本日は、午前中に高校生タウンミーティングを開催し、陸羽東線の利活用促進をテーマに、ワークショップを開催いたしました。高校生の感性・感覚は、我々にとって新鮮で、陸羽東線並びに大崎市に関するご意見、率直なご指摘、あるいは、わくわくするようなアイデアを頂きました。頂いたご意見・ご提案は、検討報告書の最終案に盛り込んでいきたいと考えております。また、4月から始動する陸羽東線利活用推進室にて、高校生の皆さんから頂いたご意見も含め、利活用促進に向けた取組みを実践させていただくとお約束申し上げたところです。

この場には、高校生タウンミーティングからご臨席いただいている懇談会メンバーの方もいらっしゃいます。地域懇談会への引き続きのご出席、誠にありがとうございます。

さて、公共交通を利用した大崎の未来価値創造、陸羽東線の利活用へということで、会議において皆様に議論いただいた内容、各団体内で取りまとめられたご意見、ご提案、さらには1月に実施しました市民提言等を集約し、利活用促進策について整理をしてみました。本日の会議では、その内容を検討報告書の素案として、皆様にお示しさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

市におきましては、1月と2月に公共交通通勤デーを実施いたしました。公共交通を職員自ら利用し、体験することで、通勤利用への利点・改善点を把握いたしました。その中では、駅からの二次交通の整備や、駅舎のバリアフリー化など課題も見えてきています。課題解決に向けて、今後方向性についてまとめ、取組みを推進してまいります。

また、国においては、2月10日に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律案」が、閣議決定されました。内容は、ローカル鉄道の再構築に関する仕組みの創設・拡充などが盛り込まれております。利活用促進を推進するうえで、支援制度の有効活用について研究してまいりたいと考えております。

今年は、陸羽東線の前身であります陸羽線の小牛田、岩出山駅間の開業から110年という節目の年にあたります。去年は、日本の鉄道開業150周年の記念の年でありました。これまで、大崎市は、陸羽東線を基軸にしたまちづくりを進めてまいりましたが、今後とも鉄軌道というものを、大崎市の社会資本、公共交通の基軸として位置づけ、利用促進してまいります。また、陸羽東線の存続に向けた住民意識の高揚が図られるような記念事業なども、住民の皆さんと一体となって進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力を賜りま

すようお願い申し上げます、あいさついたします。

(3) 出席者紹介

- ・事務局より市側出席者を紹介。

(4) 説明

○利活用促進に関する検討報告書（素案）について

- ・資料1に基づき事務局から説明を行った。このことについて、以下のとおり意見が出された。

- ・ **鳴子温泉郷観光協会**

17 ページ、18 ページに企画列車、地域とのコラボで臨時列車を運行するという案が記載されているが、以前の協議の中で、企画列車の乗車人数は平均通過人員に計上されないという話をお聞きした。臨時列車を運行させたときに、平均通過人員に乗車人数が計上されるのであれば問題ないが、企画列車の乗車人数について、どのように乗車人数として表すのか、検討した方がいいのではないかと。

- ・ **事務局**

仰る通り、企画列車等の乗車人数は平均通過人員としてカウントされないため、地域の努力が全く数字に表れないということがないように取り組んでまいりたい。

- ・ **玉造商工会**

市の職員を対象にしたアンケートもいいが、新幹線から陸羽東線に乗り継いで鳴子に来た観光客へのアンケートも、機会があれば実施してほしい。観光客目線での新しい意見があると思う。

- ・ **事務局**

今後、観光客等の陸羽東線利用客に対し、令和5年度からアンケート調査の実施を検討している。

- ・ **鳴子まちづくり協議会**

JR 沿線ではない地域も市内に存在するが、そういった地域にお住まいの方々のご利用、ご意見は重要である。この取組項目には、そういった方々の意見が反映されているのか。

- ・ **事務局**

今回、市民意見を募集したが、市内全地域からご意見を頂いた。また、市

外からもご意見を頂いたところであり、それらの意見を反映したものとなっている。また、令和5年度において、沿線に限らず、各地域の公民館、小学校、幼稚園・保育所等で、陸羽東線を活用した講座や校外学習が検討されている。市としても、市内全域での陸羽東線存続に向けた機運を高めていきたいと考えている。

・岩出山まちづくり協議会

陸羽東線という点、小牛田から新庄間であるが、山形県の最上町や新庄市などと、沿線自治体として一体となった取り組みも必要ではないか。

午前中の高校生タウンミーティングの中で、高校生から「中新田」というキーワードが出てきた。西古川駅は、やはり中新田方面からの利用が多く、その部分が検討報告書の中に表れていないように感じる。

また、日常的に新幹線を利用する人で、陸羽東線から乗り継いで利用している人は少ないように感じる。やはり、自家用車で古川駅まで来て、古川駅から新幹線に乗る人が多い。その視点についても検討報告書の中に含めていただきたい。

・事務局

山形県との連携であるが、現況としては、山形県最上総合支庁が中心となり、利活用ワーキングチームが立ち上がっており、陸羽東西線沿線自治体や新庄市の商工会議所等が参加している。その中では、各関係機関で連携することの確認がなされている。本日お示しした報告書は、市独自に作成したものであるため、沿線自治体との連携については具体的に記載して~~ま~~いないが、今後、沿線自治体との連携・調整など動きがあり次第、お伝えしてまいりたい。

西古川駅の通学利用や、パークアンドライドの視点についても報告書の中に含めていきたい。

・東大崎地区振興協議会

陸羽東線沿線は見渡す限りの田んぼである。田んぼといえばJAであるが、そういった関係機関の意見は聞いているのか。また、沿線の景色について整備が必要。例えば、JAのカントリーエレベーターの塗装を工夫してPRに使うなど、関係機関に対し沿線環境の整備について市から補助金を出すのも一つの方策ではないか。また、山形県との連携について、松尾芭蕉のつながりがあることを活かし、俳句大会を開催してはどうか。

・事務局

JAについては今回の協議に入っていないが、取組項目 No.7 の中に農商

工の連携ということ掲げている。農業関連団体を懇談会に入れなかった点は反省するところである。

今後、「農」の部分については、意見徴収という形で補足していきたいと考えている。また、山形県との取組みについても、今後の協議に向けて参考にさせていただきたい。

・古川高等学校 PTA

午前中の高校生タウンミーティングにも参加させていただいた。高校生ならではの意見や高校生、高齢者、そしてその中間の若者にどのように活用してもらおうかという意見など聞くことができた。また、我々と共通した意見もあり、駅がさみしいと使うことに抵抗があるという意見があった。高校生の意見、視点を検討報告書に反映いただきたい。

・おおさき青年会議所

当団体は、20歳から40歳の者で構成されており、子育て世代が中心となっている。休日のレジャー利用という観点が報告書の中に見受けられなかったが、親としては毎週子どもをどこに連れていくかということが悩みの種である。子どもは陸羽東線に乗るということだけでも一つのイベントとして捉えてくれるので、駅周辺に公園などの整備が進んでいけば、電車に乗って公園に行くという選択肢が生まれて、利活用につながるのではないかと。また、有備館駅の近くには公園があるが、そういった情報を発信することも、陸羽東線を家族で利用するきっかけになると思う。

・事務局

高校生タウンミーティングでも、出かけるきっかけになるような場所づくりについてご意見頂いたところであり、検討してまいりたい。

・岩出山観光協会

高校生タウンミーティングに参加して印象的だったのが、「駅が汚い」という意見。ほとんどが無人駅だが、どの駅も白と黒の駅舎で、降りる人もなく過ぎていく。最近、町おこしとしてシャッター街にスプレーアートをする事例を見かけるが、無人駅も高校生やアーティストに絵を描いてもらうなどして、駅の印象を変えることも検討してみてもどうか。

・事務局

高校生の意見の中で、「SNS映え」を狙った意見があったことから、検討報告書でも触れていきたい。

(5) 意見交換

・玉造商工会

これからは観光客を団体としてみるのではなく、一人や少人数の観光客に対しどうアプローチしていくか、そして陸羽東線の利用客一人ひとりを大切にしていけることが求められる。地域住民としてそれぞれの駅を中心に、地域として出来ることを考え実践していけば状況は改善していくと思う。

・古川まちづくり協議会

団体の意見ではなく、個人的な意見になるが、やはり無人駅が多いことが課題だと思う。そのため、人が寄り付かない。無人駅に公共的な意味を持たせた支所や民間事業所を併設して、有人駅のようにするのはどうか。防犯対策としても有効である。無人駅の環境整備についても、事業者に求めるべき。

また、コロナ禍以前は、陸羽東線を活用した校外学習が活発だったが、現在は大幅に減ったように感じる。今後、教育現場との連携も必要である。

・岩出山地域づくり委員会

陸羽東線の利活用について話し合う中で、最近乗っていないという役員がほとんどだったため、来月18日に地域づくり委員会の役員20名ほどで、陸羽東線に乗って新庄まで向かう研修を計画している。まずは乗ってみて、その中で課題を実感して、役員間で意識を共有し、関係団体・ご近所に情報共有することを目的としている。山形県側の自治体との連携も、今後も続けていきたいと考えている。

また、住民への周知活動では、例えば陸羽東線がなくなると、将来子どもたちの通学手段が減ることになり、保護者の送迎の負担が大きくなる。そういった廃線になった時のことを考えてもらえるような周知をしていこうという話が出ている。

・岩出山高等学校 PTA

取り組みとしては、岩出山高校の校長先生にこれまでの経過を提出し、教職員の間でも利活用促進策について検討いただいた。芸能人に1日車掌を務めてもらうことや、沿線中学校・高校で駅弁コンテストを開催し、優勝した作品を古川駅や紅葉シーズンの鳴子温泉駅で積極的に販売するという意見が出された。

・鳴子まちづくり協議会

鳴子まちづくり協議会は、6つの地域づくり委員会からなる組織だが、そのうち4つの地域づくり委員会が駅を抱えており、すでに駅のために、ボランティア

ィアで清掃や植栽活動をしている。活動は、市に間に入ってもらっていることもあり、具体的にホームの中に入るにはどうしたらよいか、お聞きしながら活動を進めている。まちづくり協議会としては、各地域づくり委員会と連携を密にして、地域づくり委員会の取り組みを鳴子温泉地域全体に発信し、利活用促進並びに式典やイベントに1人でも多くの方に参加していただき、陸羽東線をPRできればと考えている。

また、これまでの意見・提案が分類されているが、その中でやれること、頑張ればやれること、地域では難しいことがあると思う。やれることについて、まちづくり協議会を通じて地域づくり委員会と共有し、協力しながら取り組んでいきたい。

・みやぎ大崎観光公社

参考までに、鉄道施設内の立ち入りについては、駅舎のどこまでがJRの土地か境界線がわかりにくいいため、ボランティアで清掃いただく場合は、必ずJRに「いつ、どの駅で、どういった活動をするのか」をご相談いただき、JR職員の立会いのもとで行っていただいている。清掃いただく皆さんの安全のためにも、ご相談いただきたい。

今回の検討報告書の取組項目には、地域でやるべきこと、地域とJRが協議する必要があること、JRでないとできないことがあると思う。地域において、利活用促進は地域づくりと一体であり、地域づくりをしながら、少しでも利用者を増やしていくという位置づけであると思う。市としてはそういった地域の取り組みを支援するために、JRとの包括的な連携協定を結ぶ場を持ち、JRと協力しながら、地域の取り組みを推進してもらいたい。

また、乗ったことがない、駅に行ったことがないというのは、解決にならない。もっと、地域住民の皆さんに地元の駅を知っていただき、列車に乗っていただき、何が課題で、自分たちには何ができるのかを検討していくことが重要である。

6 その他

- ・作成した検討報告書は、地域懇談会メンバーの皆様へ送付予定。

7 閉 会

・吉田副市長

3回にわたる地域懇談会へのご出席、そして本日も活発なご議論をいただきまして誠にありがとうございました。報告書は、先ほどもご説明した通り、素案でございます。皆様のご意見を反映させてまいりたいと考えておりますので、お気

付きの点、言い足りなかった点、多々あるかと存じますのでご意見をお寄せいただければと思います。私共は、歴史をつくろうとする転換点にあります。ぜひともご意見をお寄せいただき、より良いものを形づくっていきましょう。

これまでの地域懇談会の中で、市民向けの周知をしっかりとすべきではないかという意見と、市職員が自ら率先して利用すべき、覚悟を見せるべきではないかという意見を頂いておりました。これらの意見にはすでに対応させていただいておまして、私としても市内事業所や団体約100カ所にご協力の依頼を申し上げてきたところでございます。こちらの依頼に呼応する動きも見えてきたところでございますし、新たに提案書も頂いているところでございます。

一つ皆さんにお願い申し上げたいのは、皆さんもそうだと思いますが、「大崎が大好きだ」という方、そういう方にこそ陸羽東線に寄り添っていただきたいということでございます。今、仙台では只見線を365日のうち300日撮り続ける写真家のドキュメンタリー映画が上映されており、4月からはリオーネ古川でも上映される予定です。その写真家・星さんは、会津地区が大好きで大好きで、その大好きな会津地区を走る只見線は彩りだとおっしゃっており、只見線に寄り添って毎日写真を撮り続けています。その方の行動や心意気に呼応するように、台北や全国各地の方々が動きを見せています。ぜひ映画をご覧いただきまして、改めて陸羽東線に乗っていただき、新たな気付きや提案をお寄せいただく。このようなサイクルを繰り返すことで、陸羽東線に対する活発な取り組みを、よりレベルを上げた運動に昇華することができるのではないのでしょうか。ぜひとも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げまして、閉会のあいさつとさせていただきます。皆様本当にありがとうございました。